

特別 委員会報告

ILC調査特別委員会

9月16日開催の委員会では、岩手県政策地域部科学ILC推進室長の佐々木淳氏を招き「ILC建設計画に向けた岩手県の戦略」と題してご講演をいただきました。

建設計画に係る国の有識者会議の状況、東北ILC推進協議会による「東

北ILC準備室」の設置を受け、岩手県が「岩手ILC連携室」を開設。ここでは、ILCプロジェクトの県内拠点として、研究者の受け入れ環境の整備や、ホームページの開設、国外向けの広報紙の発行など県内外への広報活動を積極的にを行い、さらに取組みを強化していくとの内容であり、今後の取組みとして、奥州市をはじめとする地

元の協力、特に居住環境の整備が必要とのことでした。

今回の調査を通じて、国内建設候補地の北上高地に次世代の大型加速器、国際リニアコライダー（ILC）の建設を想定した岩手県の戦略や、奥州市に必要な取組みなどについて、理解を深めました。



講演する佐々木淳県科学ILC推進室長

奥州万年の森特別委員会

6月24日の委員会では、5月6日の委員会に続き2回目の証人喚問を行いました。

2回目の証人喚問では、市長及び前市総務企画部政策企画課長を証人として出頭していただき、1回目の証人喚問を受けて、より深掘りすべきと判断した「残土処理（所有権）の問題」「業者選定に係る評価基準」「選定業者からの技術協力」などを、5名の委員が尋問しました。

8月4日の委員会では、前回の委員会で行った証人喚問について全委員で総括するとともに、市長に対し新たに調査照会を行うことについて、及び選定業者である（株）NTTファシリティーズに対し記録提出請求を行うこととしました。

8月29日には助言弁護士を招いての意見交換会を全委員参加のもとに開催し、先に照会及び請求した市長及び（株）NTTファシリティーズからの回答内容を確認するとともに、今後の委員会の方向性を共通認識するに至り

ました。

9月15日の委員会では、委員会の目的を果たすためには引き続き調査する必要があることを確認。今年度における調査経費限度額の変更を行うこととしました。



9月15日委員会であいさつする佐藤洋特別委員長

地域自治区調査特別委員会

7月19日の特別委員会では、市長の出席を求め、6月に開催した前回の委員会における再質問6項目及び自治区を廃止した場合の経費について説明を受けました。また、各自治区の地域協議会と議員の懇談会を開催することを決定し、8月24日に実施しました。

次に、9月20日の特別委員会では、調査事項として自治区廃止に伴うシステム変更経費について、より詳細の説明を市当局より説明を受け、続く協議会では、8月24日に開催した「地域協議会と議員の懇談会」の実施状況について各自治区の報告を受けました。また、若者や女性で構成される地域団体を対象とした議員との懇談会を、10月18日に開催することを決定しました。

なお、今後の活動については、「地域協議会と議員の懇談会」及び「地域団体と議員の懇談会」の2つの懇談会をもって、団体から意見を聞く調査活動は終了とし、その後は、特別委員会内において討議を重ねていくことと決定しました。



9月20日委員会での説明をする浦川彰政策企画課長